

生徒

自分で弁当を作り持ち寄る「お弁当の日」の実施で、家族への感謝の気持ちが育つとともに、生活習慣の改善につながっている。

生徒会の委員会が中心になって「職員室入退出マニュアル」を作成したことで、各職員室での入退出マナーが向上した。

1年生入学当初に接遇指導を実施し、生徒はコミュニケーションにおける要点を理解し、日々の生活での挨拶や話し方により影響を与えている。

近隣の中学校での出前授業や地域の行事に参加することで、自らの行動を律して、人と触れ合うことができる姿勢や態度を身につけてきた。

アサーティブコミュニケーションを題材にしたHRを行うことで、相手を思いやり、受け止め、自分の意見を主張するように心がけるようになってきている。



隠岐の島町

保・小・中、みんなでゴミ拾い

町内清掃、植樹、PTA奉仕作業を地域の方と一緒にすることで、世代間交流ができ、地域への理解と関心が深まった。

月2回の絵本の読み語りを通して小学生と交流を持つことで、生徒が進路について考える機会となった。

接遇研修を全校生徒に2回実施することで、言葉遣い、コミュニケーション、身だしなみ、電話の対応などのスキルが上達し、相手の状況等に気遣いができるようになった。

小・中・高・地域で行う地区の清掃活動に参加することが、異校種交流の場になっただけでなく、小中学生がいることでリーダーシップと責任感を培う活動となった。

上級生による指導と全校朝礼を組み合わせた指導で、職員室入退室時などのマナーが向上している。

坂道では自転車を降りて押すことを指導している。安全の確保が最大の目標であるが、それとともに相手の立場を理解することの大切さを考えさせようとするもので、定着しつつある。



江津市

赤ちゃんと心を通わせようとする小学生

「挨拶」の励行により、来客や地域の方への挨拶もよくなり、時々お褒めの言葉もいただく。校内では定着している。

集団宿泊研修が規範意識を高めるきっかけとなっている。

スクールカウンセラーによるソーシャルスキルトレーニングや放課後の保健室でのおしゃべり会を行うことで、参加生徒が互いに言動に気をつけ合っていることから、他者を思いやる心が育ってきている。

校区が広がり地域とつながることが難しい中で、さまざまな活動が工夫して行われています。また、進路を意識した、接遇やコミュニケーションの研修も多くあります。

保護者や地域

保護者による朝の挨拶運動で、保護者の皆さんの生徒理解にもつながり、家庭での生徒と保護者の会話の糸口になるなど良好な効果があった。

P T A活動、体育祭の給水など学校行事に多くの保護者に参加してもらうことで、生徒の家庭での様子がわかり生徒理解につながった。

地域にある福祉施設に客観的に教員・生徒の態度面等の評価を依頼することで、地域の方も一教育者として協力し、専門的な面だけでなく普段のふるまいについても多角的に指導して下さるようになった。

学校評議員会をはじめとして、卒業生や保護者、地域の方々との対話の機会を持つことで、地域一体となって「ふるまい向上」に取り組むことができた。

活躍する生徒の姿や学校での取組の情報を家庭や地域に発信すること、様々な取組に学校外の方に関わってもらうことで、生徒理解、学校理解が深まり、より有効な教育活動が展開できるようです。

学校間交流をすることで、集団の中で挨拶をしたり、お礼や感想を言ったり、聞いたりして、集団の中でふるまい方を理解しつつある。

アイマスク体験等の保護者研修をしたことにより、保護者の視覚障がいへの理解が深まり、家庭での教育の一助になった。

県立特別
支援学校

人のためにゴミ捨てや掃除に積極的に取り組もうと呼びかけ、何ができるかを自分たちで考えたことで主体的に行動する姿が見られるようになった。

校外学習や、宿泊学習で、公共施設、交通機関の利用をすることで、マナーやエチケットについての理解が深まった。

ふるまいに関する目的を持って地域交流をすることで、地域の方々に聴覚障がいに対する理解を得られてきた。

できる仕事は自分たちでできるように促した。その結果、行事の前後、自主的に準備や片付けに参加する児童生徒が増え、結果的に自分のことは自分で行う意識が育っている。

生徒会執行委員会で数年前から「挨拶運動」を行っている。週3回続けることで、生徒たちの声も大きくなってきた。子どもたちを送ってこられる保護者の方とも気持ち良い交流ができつつある。

「校章・学年章・役員バッジ」の携行を丁寧に指導しなおしたところ、身だしなみ全般についての意識も向上しつつある。



西ノ島町

積極的に世代間交流

校外で学校外の団体と触れ合いながら活動をすることが、人との関わり方や、声のかけ方などを学ぶ良い機会となった。

できることから確実にという取組と、校外の人とのつながりなどから学ぶという取組が多いようです。日々の学習と、社会生活に役立つふるまいを身につけることが直結しています。